

最上川水系押切川 留山川ダムの効果 (令和2年7月28日 梅雨前線の影響) 山形県

- 最上川水系押切川の留山川ダム地点において、7月27日13時頃から降り続いた雨は、29日1時まで**累加雨量が134mm**に達し、留山川ダムでは**最大毎秒16.4m³**(7月28日16:20)の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、留山川ダムでは**約8.2万m³**(※25mプール約247杯分)の水を貯め込み、下流河川の水位の低減を図りました。 ※25mプール:長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360m³で換算した場合
- 留山川ダムによって、ダム下流の**天童市山口地点**で**約57cm**の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

位置図



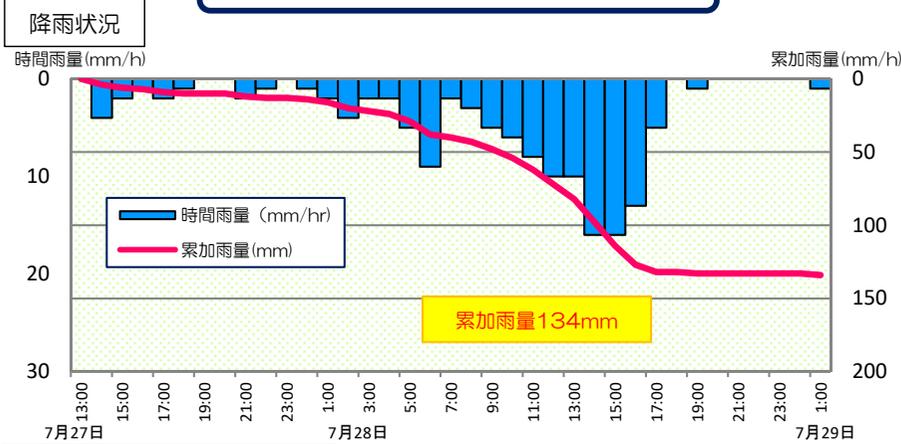
留山川ダム貯水状況



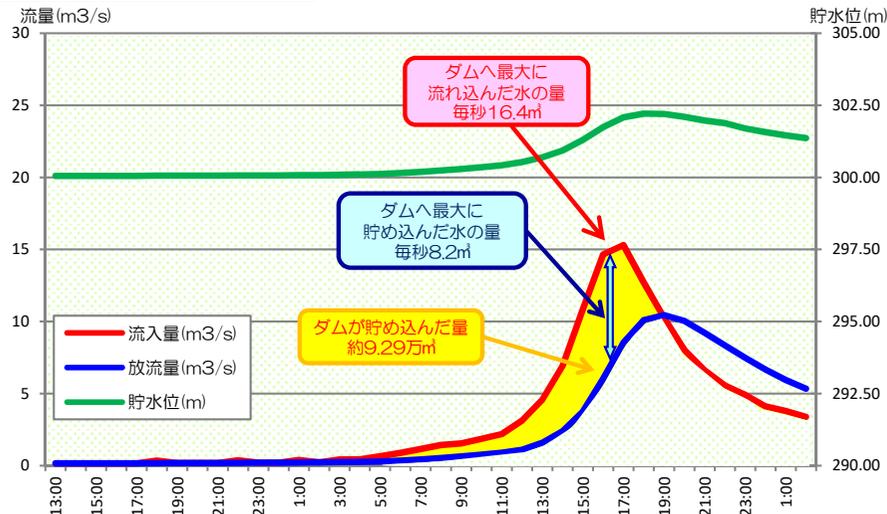
押切川 山口水位観測所付近の状況



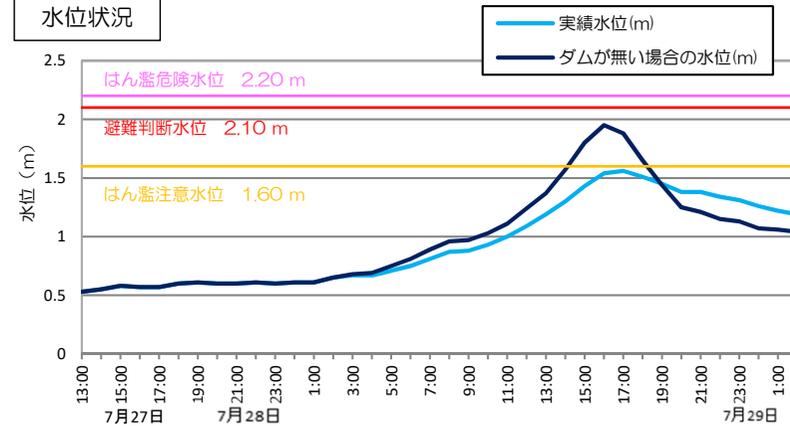
留山川ダムの洪水貯留状況



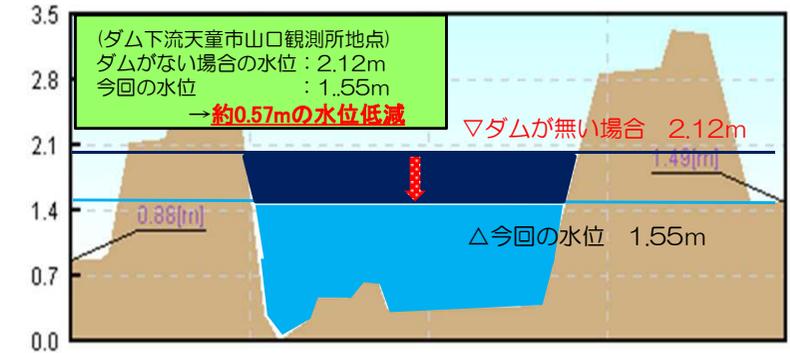
ダム流入量/放流量/貯水位



押切川における水位低減効果



標準断面での想定



問い合わせ先

山形県県土整備部河川課ダム担当

TEL 023-630-2616

村山総合支庁建設部山形統合ダム管理課

TEL 023-631-3526